施設だより

ひこね市文化プラザ 26-8601 FAX 26-8602 12月の休館日:5日月、12日月、19日月 26日(月)、28日(水)~3日1(土)

★ ★ ★ 注目のイベント ★★ ★

12月11日(日) 14:00~ グランドホール

OEK ♪ ひこね Cool Japan Concert episode.3 「池辺晋一郎&OEK弦楽器メンバーによる ビートルズ・オン・バロック」

OEK♪ひこね Cool Japan Concert 第3弾は、石川県立音楽堂の洋楽監督、 池辺晋一郎が、不滅の名曲ビートルズナ ンバーをバロック調にアレンジします。み ずから指揮と曲目解説を行い、オーケス トラ・アンサンブル金沢の弦楽器メンバ 一とともに、皆さんをバロックの世界へ ご案内します。



指定 一般4,000円、OEK会員価格3,400円、SP価格2,000円

12月18日 14:00~ グランドホール

「第14回ひこね市民手づくり演奏会」

本年度はベートーベンの第九をお休みし て、「カルメン」「椿姫」「アイーダ」といった 有名な歌劇の中から、聴きなじみのある名 曲をオーケストラとともに演奏します。 自由 前売1,500円、当日2,000円





▲指揮者の 北原幸男さん

平成24年1月13日金 19:00~ エコーホール

OEK かひこね Cool Japan Concert episode.4 「OEKメンバーによるニューイヤーコンサート」

指定 一般3,500円、OEK会員価格2,900円、SP価格2,000円

2月2日(木)・同16日(木)・3月1日(木) 19:00 ~ メッセホール

ひこね市民大学講座 歴史手習塾 セミナー11 「危機を乗り越えた日本人

~江戸時代に学ぶ日本人の叡智~」

自由 一般3,000円、SP価格1,800円 【12月10日生チケット発売】

24

年

月

か

5

の

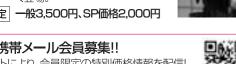
催

2月25日生) 16:00~ エコーホール

金亀亭第10回落語ライブ 「立川志らく 独演会」

おもしろい古典落語の革命 児。談志師匠の遺伝子をもっとも 受け継いだ噺家(はなしか)志ら く登場。

指定 一般3,500円、SP価格2,000円



無料携帯メール会員募集!!

イベントにより、会員限定の特別価格情報を配信! ※右記のQRコードからご登録ください。



※SP価格…スチューデント・パスポート価格(登録無料の学生会員価格) ※OEK会員価格…OEKサポーターズクラブ会員価格

チケットのお申し込み、お問い合わせは **チケットセンター ☆27-5200** (9:00~19:00) インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

22-6100 FAX 22-6520 12月の休館日:12月25日(1)~同31日(土) ※12月1日休、22日休~24日出は展示替え のため、展示室を一部閉室しています。

開館時間 8:30~17:00(入館は16:30まで)

12月1日(木)~同22日(木)

「阿弥陀信仰の美術 - 寄贈・寄託作品から -」

古来、極楽浄土への往生を願う人々により信仰さ れ続けてきた阿弥陀如来。彦根城博物館に寄贈・寄託 された仏像や来迎図など、人々の願いがこめられた 阿弥陀信仰にまつわる美術を紹介します。





ギャラリートーク

「阿弥陀信仰の美術ー寄贈・寄託作品からー」 12月3日生) 14:00~15:00

解説:彦根城博物館学芸員 ※事前申し込みは不要です。当日、直接展示室1 にお集まりください。



常設展示の名品-

常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名 筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを 展示しています。

12月2日金~同21日水

設

展

の

名品

江戸幕府老中奉書

重要文化財「彦根藩井伊家文書」のうち、水害などで 破損した古文書の修理を進めています。その中から、 新たに修理した老中奉書をご覧いただきます。



▶写真1 阿弥陀三尊来迎図

(高宮寺蔵)



きがよく表されているため、

尊が眼前に現れたように感じたこと

伴って阿弥陀信仰に基づく仏像や仏 は、時宗遊行派の古刹であ でを盛し、それに特に平安時代か 現 在 る様子や足もとにたちこめる雲の動き出しています。しかも、天衣の翻りの3幅に分けて大きく描 多く見受けられます。ところが、本図 う者の家屋を一幅中に描いたものが は背景を描かず三尊をそれぞれ縦ー 時代後期の作風をよく示しています。 を描いています。三尊のやや面長の 音菩薩(右)、合掌する勢至菩薩(左)前のめりにかがんで蓮台を捧げる観 来迎図においては、 (右)、合掌する勢至菩薩 すらりとした姿は、

精緻な文様表現です 見すると濃淡の異なる金色

陀三尊来迎図です。左足をわずかに滲れば物館に寄託されている阿弥 踏み出した阿弥陀如来 往生者を迎えに来る様相 山間の風景と往生を願 阿弥陀と諸菩 中と、やや 鎌倉 定

に伝来し、



日休まで

展示しま

立たせています。また銀も用いておきが仏菩薩の崇高な様をいっそう際ており、その截金文様が織りなす輝 草といった文様がぎっによって、麻葉繋ぎ、 によって、麻葉繋ぎ、箔を非常に細い線状に 阿弥陀如来の右腋下 か見えませ しりと施され へ垂れる衣

ら鎌倉時代にかけて隆盛し、

からありましたが、

に住する阿弥陀如来への信仰は古く仏教において、西方の極楽浄土

を飾

る

-

意味

装飾

信

や荘厳な様を示すためのものです な色彩で飾ることは、 の透明感を表現しています。 仏や菩薩などの尊像を金銀や鮮や 本図のように仏教美術においては 尊像の超越性

(彦根城博物館学芸員

りがあります

真野順之)

品から - 」で12月1日休~弥陀信仰の美術 - 寄贈・寄事の資料は、テーマ展 - 寄贈・寄託作 テーマ展

作善、つまえがあり、 のため、 迎に対する ほどには美麗を極めたものではあり 様をうかがうこともできるのです。 が求められた背景に、 を制作することが挙げられます。 精緻な截金文様などが入念に施され が求められた背景に、信仰心のありた。より善いもの、より美しいものした造仏がなされた時代もありまし 族たちによってあらん限りの贅を尽 たその装飾からは、 本図にみる装飾性は平安時代後期 つまり 平安時代後期のように、 しかしながら、 人々の切実な願いを見て 銀の使用や 経典など 貴

たらす功徳によってできるという考仏教では、往生は生前の善行がも その善行のひとつに造仏

広報ひこね 平成23年12月1日

物館からの X , ヤ し (

0)

ジ













第184回

広報ひこね 平成23年12月1日